

# 松梅校道徳通信

令和8年5月8日  
文責：亀川

## 今年も道徳科の授業が始まりました！

今年度も道徳科の授業が始まりました。これから一年間、道徳科の授業を進めるにあたり、4月13日(月)に中学部全員で授業開きを行いました。今年の授業開きは、小学4年生の道徳で学習したことがある「泣いた赤鬼」。小学生の時は、この話から「友情、信頼」について考えましたが、今回は「そもそもこの話の問題点は何なのか」について各学年でグループを作って話し合いました。すると、次のような点が挙げられました。



### 【1年生】

青鬼が「自分が悪役になるよ」と言ったこと。  
人からの信頼がなかったこと。  
赤鬼を偏見でしか見ない人間に問題がある。

### 【2年生】

青鬼を犠牲にせずに人間と仲良くなる方法はなかったのか。  
青鬼は仲良くできないまま遠くに行ったこと。  
青鬼のことを悪いやつにしたこと。  
友情より自分の幸せのために友達を犠牲にしたこと。

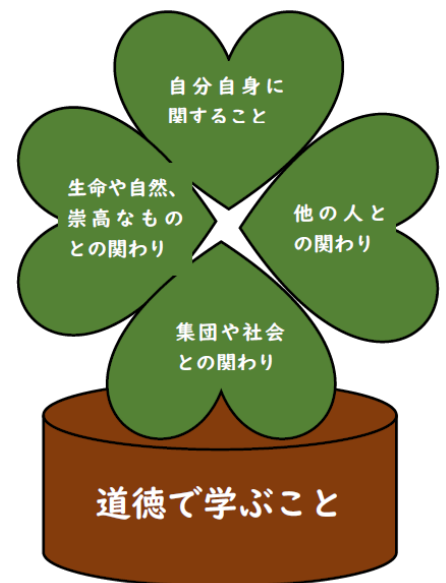
### 【3年生】

人が鬼は悪いものという偏見。  
赤鬼を信じない人間が悪い。  
青鬼の提案が悪かった。  
青鬼も仲良くなるという前提で赤鬼が考えていなかった。

この活動を通して、同じことについて考えていても人によって視点が異なること、また、自分自身が成長することで同じ内容でも見方が変わることを実感することができました。

そして、この活動の後、「道徳の授業」は『心を豊かにする時間』だということ、みんなで確認しました。「道徳の授業」で学ぶことは、大きく分けると右の図の4つ。これらのことを学ぶことで、「人として大切な価値がわかるようになる」「自分を客観的に見つめられるようになる」「物事を多面的・多角的に考えられるようになる」「人間としての生き方について考えを深められるようになる」ことをめざします。

答えが一つではない道徳。だからこそ、子どもたちだけでなく、先生たちも一緒に、大いに考えて大いに悩む時間にしたいと思います。そして、より多くの考えにふれ合うことで、彩り豊かな心を持つ魅力的な人に、ともに成長していきたいと思います。



6月7日(日)に各学級でふれあい道徳を行います。参観だけでなく、保護者の皆様や地域の皆様にも授業に参加していただけるような内容にしていきますので、ぜひお越しください。